



くりはら

市議会だより

第49号

平成28年11月16日



平成27年度決算を認定 2

決算審査 ここが聞きたい 4

5委員会 先進地に学ぶ 8

一般質問 まちづくりに20人登壇 11

「私もひとこと」

すかわら
菅原

あき
亜希さん(築館)

たかはし
高橋

さとし
智さん(若柳)

22

ボランティアグループ
「ひなたぼっこ」によるおはなし会

9月定例議会

9月定例議会は、9月13日から10月6日までの24日間の会期で開かれました。

一般質問には、20人の議員が県立循環器・呼吸器病センターの問題、鳥獣の被害対策、河川の整備など54項目にわたり市の考えをたどりました。

また児童館条例の廃止や工業団地の分譲地を売り払う財産の処分、補正予算などを審議し原案のとおり可決しました。

平成27年度の一般会計、特別会計、事業会計の決算は、決算特別委員会を設置し集中審査の結果、原案のとおり認定しました。

平成27年度一般会計の決算

歳入は、平成26年度に比べ、市税では法人税の改正や固定資産の評価替えなどにより2億5824万円減の68億9024万円。地方交付税は東日本大震災に伴う除染や塩化カリ散布経費の削減などにより1億6587万円減の207億5586万円。県支出金では公共施設への太陽光発電の設置などにより5億822万円増の32億1549万円。市債では築館保育所、栗駒、志波姫、瀬峰幼保一体施設の整備などにより、15億6370万円増の71億6610万円となりました。

歳出は、総務費において第2次集中改革プランに基づく人件

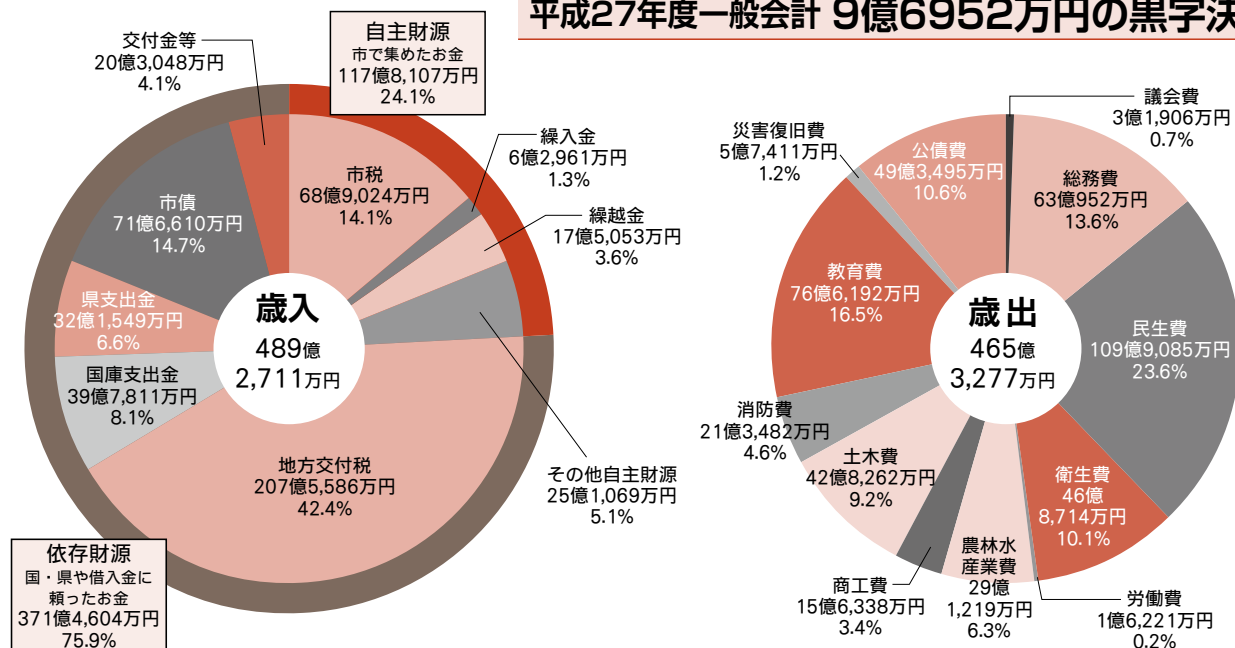
費の削減。一方、合併10周年記念事業として開催した各種イベントに交付した謝礼金、プレミアム付商品券および旅行券の発行事業などで約63億952万円。民生費は築館保育所の建設や関東・東北豪雨の復興支援費の増などにより109億9085万円。教育費は栗駒・瀬峰・志波姫の幼稚園・保育所・子育て支援センターの一体化整備など76億6192万円となりました。

歳入歳出の差引額は23億9434万3000円となりますが、翌年度への繰越額が14億2481万8000円で、実質収支は9億6952万5000円の黒字となりました。

決算

7つの成長戦略を展開 決算85億円

平成27年度一般会計 9億6952万円の黒字決算





合併10周年記念の式典が本庁舎前で行われた



平成

27年度

各会計の決算状況と採決のようす

区 分		歳 入	歳 出	採決の結果
一 般 会 計		489 億 2711 万円	465 億 3277 万円	賛成 21 反対 4
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	104 億 7064 万円	101 億 8094 万円	全員賛成
	介護保険特別会計	93 億 7771 万円	92 億 6134 万円	賛成 21 反対 4
	後期高齢者医療特別会計	8 億 4152 万円	8 億 3402 万円	全員賛成
	下水道事業特別会計	33 億 1749 万円	32 億 8435 万円	全員賛成
	農業集落排水事業特別会計	2 億 4835 万円	2 億 4264 万円	全員賛成
	合併処理浄化槽事業特別会計	2 億 8406 万円	2 億 7844 万円	全員賛成
	簡易水道事業特別会計	14 億 6835 万円	14 億 3498 万円	賛成 21 反対 4
	診療所特別会計	4 億 242 万円	3 億 8994 万円	全員賛成
	工業団地整備事業特別会計	10 億 5241 万円	10 億 5142 万円	全員賛成
計		274 億 6295 万円	269 億 5807 万円	
合 計		763 億 9006 万円	734 億 9084 万円	
水 道 事 業 会 計		17 億 7136 万円	21 億 3446 万円	賛成 21 反対 4
病 院 事 業 会 計		76 億 4784 万円	83 億 9203 万円	全員賛成

※水道事業会計および病院事業会計については、収益的収入・支出および資本的収入・支出の合計額を記載しています。
※議長は採決に加わりません。

決算審査

ここが聞きたい

平成27年度の一般会計や9特別会計・2事業会計の決算は、議会議員が全員（議長を除く）で構成する決算特別委員会（委員長 佐々木脩議員）で審査しました。

審査は市政全般にわたり、多くの質疑がありました。
主な質疑をお知らせします。



佐々木脩委員長

管財課

状況はどうか
若者定住分譲地

問 若者定住のためのシェアリングタウン（宅地分譲）の状況はどうなっているのか。

答 若柳地区の「そよ風の道川南」は4区画で1399万1000円、一迫地区の「みどりの庭鹿島館」は4区画で593万1300円で販売した。

また、築館地区の「きらめきの丘三峰」分譲地の造成費は約5400万円で、販売価格は全区画で1571万7000円。高清水地区の「いずみの庭佐野丁」分譲地の造成費は約8600万円で、販売価格は全区画で2161万2000円となる。

企画課

返礼品総額は
ふるさと納税

問 ふるさと納税の件数は。今後、高額の返礼品の導入は考えているのか。

いのか。また、ふるさと納税に対する返礼品の総額はどうか。

答 平成26年度は390件、526万3305円、平成27年度は350件、1055万5523円、件数は減ったが、平成27年度は大口の寄付があり、金額が増加している。

現在、5000円以上の寄付者に米5キロ、1万円以上の寄付者には米5キロと地酒のセットを返礼している。過剰な返礼品については考えていないが、栗原の魅力を宣伝できる返礼品の導入については検討していきたい。また総額は16万3400円である。

問 空き家を活用した移住体験施設の活用状況と利用促進策はどう考えているか。

答 平成28年度3人の利用があった。空き家バンク制度を立ち上げ宣伝している。

成長戦略室

婚活事業での
カップル数は

問 婚活事業でのカップル成立数は。

答 3回開催しており、1回あたり5〜6組のカップルが成立している。

事業後の追跡はしていないため、結婚したかどうかまでは把握していない。

問 空き家を活用した移住体験施設の活用状況と利用促進策はどう考えているか。

答 平成28年度3人の利用があった。空き家バンク制度を立ち上げ宣伝している。

畜産園芸課

どうなっている
和牛の飼養頭数

問 繁殖、肥育の飼養頭数の推移と県外産の牛の導入比率はどのようになっているか。

答 繁殖の頭数は平成25年で5661頭、平成26年で4263頭、平成27年で4189頭。肥育の頭数は平成25年で3878頭、平成26年で2910頭、平成27年で2713頭となっている。県外産の導入比率については、把握していない。

田園観光課

カウントはどこで

問 200万人観光というの、どこでカウントしているのか。

答 入込調査については、基準が宮城県から示されている。

観光施設においては、施設の入場者数。観光地点の駐車台数などをもって入込



200万人観光にかかせない宿泊施設



10年以上が目安の屋根塗装

数を算出、宿泊施設については宿泊者数。具体的には、それぞれ延人数となり、1人が観光地点2点を訪れた場合は2人、1人の方が2泊しても2人となる。

都市計画課

どうなるルート
築館バイパス

問 国道4号築館バイパスに遺跡が出てルート変更になると聞いている。変更はあるのか。

答 築館バイパスは、入の沢遺跡という重要な文化財が出たことにより、当初の計画で進めるか、調整が出てくると想定して

いる。早急に整備を進めるように市から国土交通省に伝えており、国土交通省でも認識している。

建築住宅課

基準はあるのか
住宅の屋根塗装

問 市営住宅入居者より屋根の錆がひどく、塗装してほしいと要望されたことがある。屋根の塗装の基準はあるのか。

答 屋根の修繕については、管理上10年以上経てば補修の対象と考えており、今年度は森下住宅の屋根塗装工事を実施している。

下水道課

どうなっているのか
浄化槽の補助基準

問 単独浄化槽切替助成事業補助金および合併処理浄化槽切替助成事業補助金の実績と基準はどうなっているのか。

答 単独浄化槽切替助成事業補助金は、6件80万円、合併処理浄化槽切替助成事業補助金は4件40万円となっている。

助成基準については、単独浄化槽切替助成事業補助金は、65歳以上の高齢者世帯、6人以上の世帯、18歳未満の子供3人以上の世帯が20万円、それ以外は10万円。

合併処理浄化槽切替助成事業補助金は、一律10万円となっている。

介護福祉課

どうなるのか
介護の施設整備

問 現在、施設への入所待機者は何人か。また、今後の施設整備の予

定はどうなっているか。

答 平成28年8月1日で、242人。築館地区に特別養護老人ホームと認知症対応型のグループホームをそれぞれ1施設を整備する。

問 特定不妊治療費助成事業はいつからの事業か。今まで何人くらい申請して、成果はどうであったか。また平均的な治療費用はいくらぐらいか。

答 平成19年度からの事業で平成28年9月まで162件、実人数120人の申請があり、32人が出生している。

問 保育士の臨時職員の時給は1000円、非常勤職員の月額額は15万4000円。非常勤職員は1日6時間45分の勤務となっている。臨時職員については勤務形態がさまざままで20時間から29時間以内で本人の希望によって割り振っている状況である。

答 平成27年度の待機児童数は、また小規模保育事業、事業所内保育所の事業所名と定員は、

問 平成27年度の待機児童数は、また小規模保育事業、事業所内保育所の事業所名と定員は、

答 平成27年度4月1日で30人で、平成28年4月1日では待機児童は21人である。小規

模保育事業所はおむすび保育園築館園、現在の入所者は16人、事業所内保育所は山王あおぞら保育園で9人である。

市民課

どうなっている
カードの発行数

問 栗原市内でのマイナンバーカードの発行枚数は。

答 8月末で申請数が5694件、そのうち既に交付されているのが4303件となっている。

医療管理課

3病院への
救急患者は

問 平成27年度の救急患者の受入件数は。また、三次医療機関へ転送した件数は。

答 平成27年度の救急患者の受入件数は、栗原中央病院4518件、若柳病院1789件、栗駒病院1016件となっている。また、他の医療機関への転送の件数については、栗原中央病院114件となっている。

健康推進課

向上しているのか
がん検診の受診率

問 がん検診の受診率の傾向は。

答 様々な形で受診勧奨しているが、受診率は平均25〜35%で横ばい傾向である。今後も受診勧奨を続けていきたいと考えている。